

平成 22 年度

**横浜市立大学の動物実験に
関する自己点検・評価報告書**

平成 23 年 7 月 22 日

横浜市立大学動物実験委員会

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 横浜市立大学における動物実験の実施に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文部科学省基本指針に則した機関内規定が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 A. 横浜市立大学動物実験委員会規程 B. 公立大学法人横浜市立大学福浦キャンパス動物実験センター運営委員会規程 C. 公立大学法人横浜市立大学鶴見キャンパス動物実験委員会規程 D. 公立大学法人横浜市立大学木原生物学研究所動物実験委員会規程 E. 公立大学法人横浜市立大学金沢八景キャンパス動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 各施設の委員会が適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>A. 横浜市立大学における動物実験の実施に関する規程</p> <p>B. 各キャンパス動物実験指針</p> <p>C. 計画書、経過報告書、結果・中止報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度からの運用に向けて、平成22年度大学で統一した動物実験計画、経過報告書、結果・中止報告書が策定された。 ・大学で統一した動物実験計画の審査要綱が未整理
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>大学で統一した動物実験計画の審査要綱を策定する。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>各キャンパス各規程</p> <p>A. 遺伝子組み換え実験に関する安全管理規定</p> <p>B. 病原体等安全管理に関する規程</p> <p>C. バイオセーフティ委員会に関する規程</p> <p>D. 動物実験施設で使用する有害化学物質の取り扱いについて</p> <p>E. 感染性廃棄物管理規定、感染動物実験における安全対策</p> <p>F. 動物実験施設等における負傷・疾病への対応、動物実験施設における災害対策マニュアル</p>

G.安全管理のマニュアル
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に必要な各種規程、内規、マニュアル等が一部しか整備されていない。 <ul style="list-style-type: none"> A. 遺伝子組換え動物実験に関する規定 B. 感染動物実験における安全対策に関する規程 C. 向精神薬取扱に関する規程 D. 毒物・劇物等の保管・使用に関する規定 E. 動物実験施設等における負傷・疾病への対応、災害対策に関する規定 ・動物実験委員会と安全管理委員会、遺伝子組換え実験安全委員会との連携の課題。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスによる各種規程、内規、マニュアル等の整備 ・大学による各種規程、内規、マニュアル等の整備 ・来年度より管理が必要な実験計画には、バイオセーフティ委員会、遺伝子組換え実験安全委員会の承認番号などを実験計画書に記載し、各委員会との連携を明確化する。
<p>5. 実験動物の飼養保管の体制</p> <p>（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）</p>
<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>A. 視察報告</p> <p>B. 横浜市立大学における動物実験の実施に関する規程</p> <p>C. 公立大学法人横浜市立大学木原生物学研究所動物実験室利用細則</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度自主点検・評価報告書作成を前提とした、医学部実験動物管理者による各施設の訪問調査を行った。 ・飼養保管についての基準が未整備 ・保管施設一覧表等が未整備

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・複数の施設の動物運営委員（実験動物管理者）による各施設の訪問調査を行う。
- ・飼養保管の基準を定める。
- ・保管施設一覧表等の資料作成が必要。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

横浜市立大学動物実験規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

横浜市立大学動物実験規程

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成22年度動物実験計画書

<p>平成 22 年度動物実験経過報告書</p> <p>平成 22 年度動物実験結果・中止報告書</p> <p>平成 22 年度動物実験計画書一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験計画書の立案、審査、承認に関しては基本指針に基づいて行っている。 ・動物実験責任者の他機関への転出等により、結果報告書の提出がない場合がある。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>経過報告書、結果・中止報告書の提出を動物実験実施責任者に求める。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>A. 安全管理を要する動物実験計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組み換え実験に関する規程 ・病原微生物使用実験に関する規程 ・毒物・劇物・発癌物質に関する規程 ・向精神薬取扱に関する規程 ・RI の利用に関する規程 <p>B. 実験動物飼養保管マニュアル、(実験動物研究施設飼育管理標準手順書)</p> <p>C. 動物飼養保管状況（事故報告書）</p> <p>D. 動物実験施設利用の手引き、4F 動物実験施設利用規約</p> <p>H. 大学院生命ナノシステム科学研究科生体超分子システム科学専攻安全管理委員会規程</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理を要する基準が一部整備されていない。 ・安全管理を要する動物実験ごとの動物実験計画書の一覧表が未整備

<ul style="list-style-type: none"> ・実験動物飼養保管マニュアルが未整備 ・動物飼養保管状況（事故報告書）が未整備
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理の基準を整備する。 ・安全管理を目的とした動物実験計画書の一覧表を作成する。 ・実験動物飼養保管マニュアルを作成する。 ・動物飼養保管状況（事故報告書の様式）を整備する

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 受託管理会社の実験動物飼養保管マニュアル（実験動物研究施設飼育管理標準手順書） B. 受託管理会社の実験動物飼養管理業務日誌 C. 微生物検査報告書 D. 動物実験施設利用の手引き（動物実験施設利用規約等） E. 管理委託仕様書・仕様明細書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市大実験動物飼養保管マニュアルが未整備 ・横浜市大実験動物飼養管理業務日誌が未整備
<p>(4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立大学実験動物飼養保管マニュアルを策定する。 ・横浜市立大学実験動物飼養管理業務日誌を作成し、動物の納入、実験施設間の移動、死亡や実験での使用を記録する。 ・横浜市立大学実験動物飼養管理業務日誌を作成し、施設外飼育での記録を行う。 ・動物の飼育総数の、把握

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>A. 視察報告書</p> <p>B. 横浜市立大学第2期中期計画</p> <p>C. 動物実験施設利用の手引き、4F 動物実験施設利用規約</p> <p>D. 温度、湿度、差圧計、定期点検報告</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度自主点検・評価報告書作成を前提とした、医学部実験動物管理者による各施設の訪問調査を行った。 ・横浜市立大学第2期中期計画による老朽化した機器の更新計画。 ・一部施設や機材に更新等の計画が予定されていない。 ・八景キャンパス理科館の建て替えに伴う動物舎の新設の準備を行う必要がある。 ・動物実験飼育施設外で行われる動物飼育の施設管理や保管基準が明確にされていない。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の施設の動物運営委員 (実験動物管理者) による各施設の訪問調査を行う。 ・横浜市立大学第2期中期計画を実行する。 ・老朽化している機材の更新をするための予算の検討を行う。 ・実験動物飼養保管施設申請書、実験動物飼養保管施設の基準の策定・作成を行う。 ・動物実験飼育施設外で行われる動物飼育の管理施設の基準を策定する。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p>

<p>A. 各キャンパス動物実験施設利用者教育訓練資料、 B. 教育訓練実施記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 毎年、年度当初に初心者向け教育訓練が実施されている</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価を平成21年度から実施できなかった。 情報公開ができていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 22年度から自己点検・評価を行う。 平成23年度中にホームページを新設し、情報公開をする。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

--